

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
英語B (English Speech)	選択	森川 寿	5 年生 都市環境工学科	2	通年 週2時間							
授業概要	現代社会における様々なトピックについて英文エッセイを書き、それを基にスピーチにまとめて発表する。教科書を通して効果的な構文・表現を学び、それらを自分のエッセイやスピーチで活用するよう練習する。トピック毎に背景知識を学び、自分の意見をまとめる。 授業中に数人ずつ短いスピーチをする。											
到達目標	英検2級 (TOEIC 600) 程度のリスニング・読解・語彙・スピーチ能力をつける。											
評価方法	1．課題、ショート・スピーチなど 40% 2．期末試験 30% 3．スピーチ 30% 1と2の方法で到達度60%以上で合格とする。											
教科書等	Point by Point – Writing Effective Opinion Essays 石谷由美子 著 (南雲堂)											
内 容					学習・教育目標							
第 1 週	オリエンテーション、Lesson 1. Computer Society				D							
第 2 週	1. Computer Society				D							
第 3 週	1. Computer Society				D							
第 4 週	2. Deforestation				D							
第 5 週	2. Deforestation				D							
第 6 週	2. Deforestation				D							
第 7 週	3. Biotechnology				D							
第 8 週	3. Biotechnology				D							
第 9 週	3. Biotechnology				D							
第10週	4. English and Internationalization				D							
第11週	4. English and Internationalization				D							
第12週	4. English and Internationalization				D							
第13週	5. Global Warming				D							
第14週	5. Global Warming				D							
第15週	スピーチ・テスト < 前期末試験 >				D							
第16週	6. Bullying				D							
第17週	6. Bullying				D							
第18週	6. Bullying				D							
第19週	7. Aging Society				D							
第20週	7. Aging Society				D							
第21週	7. Aging Society				D							
第22週	8. Racism				D							
第23週	8. Racism				D							
第24週	8. Racism				D							
第25週	9. The Seniority System				D							
第26週	9. The Seniority System				D							
第27週	9. The Seniority System				D							
第28週	10. Euthanasia				D							
第29週	10. Euthanasia				D							
第30週	スピーチ・テスト < 後期末試験 >				D							
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a)d	d2b)c)	e	f	g	h
		本校の学習・教育目標	A	A	C	C	C	B	B	D	C	B

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。)

英語B English B (5年生選択)

ガイダンス

この科目では、英語を通して自分の意見をまとめて発表する練習をします。

まず、自分の意見をより効果的に読者や聴衆に伝えて納得させるために、必要な英語表現に慣れます。同じ事を言うのでも、単に思いついたことを並べただけでは、人に理解してもらうことは難しいのです。これが問題点なんだ、これが結論なんだよ、と示すような表現を習ってください。さらに、論理的に文章を並べ、段落を構成することも必要です。

授業では、書くことと話すことに集中して練習します。

1. 毎回数人ずつ1～2分のスピーチをして、人前で話すことに慣れます。まず身近なトピックから話してもらいますが、回を重ねるうちに、教科書で扱われているような社会問題などにも取り組みます。1年間で一人当たり8回程度ショート・スピーチをすることになります。
2. 各レッスンの最後のページにあるエッセイ・トピックから1つトピックを選んでエッセイを書いて提出します。教科書の練習問題はそのための課題なのです。
3. 授業のまとめとして、2で書いたエッセイを基に、前期後期のそれぞれの最後の時間に、皆の前でスピーチをします。効果的で説得力のあるプレゼンテーションを期待しています。

社会人になれば、さまざまな問題について知識を持ち、自分の意見を発表することもしばしば求められます。この授業を通して、英語の発表力だけでなく、皆さんの社会人としての視野が広がることを念じています。